

「英日メディカルコース」添削指導例

※こちらの添削課題は、サンプル用に作成したものです。実際の課題とは異なりますのでご了承ください。 ※実際の「英日メディカルコース」添削課題は全5問×6回となります。

第3問 (40点)

28 /40

僧帽弁狭窄症 (MS) は、最も一般的で重要な心尖部拡張期雑音の原因である。MS

はリウマチが大部分の原因である唯一の心臓弁疾患であり、全てのリウマチ性弁疾患患者の約50パーセントの割合を占める。しかし、MSを患う全ての患者の約50パーセントのみが、急性リウマチ熱の明確な経歴を有している。4対1の割合で女性が男性を上回っている。

病理学的に、リウマチ性狭窄には主要な3型がある。交連型は腱索や先端がほとんど関与していない交連の融解を示す。腱索型は融解および腱索肥厚を示し、その結果、弁尖の運動縮小および低下が認められた。3型では弁尖または先端が静止して硬くなり最終的に石灰化する。これらの型は純性または合併型である。

病理学的に、リウマチ性狭窄には主要な3型がある。交連型は腱索や先端がほとんど関与していない交連の融解を示す。腱索型は融解および腱索肥厚を示し、その結果、弁尖の運動縮小および低下が認められた。3型では弁尖または先端が静止して硬くなり最終的に石灰化する。これらの型は純性または合併型である。

*この部分は「原因」に係りますのでそれが明快となる語順にします。

*重複表現です。

*医科学文書では記号を用います。

* history は、医科学分野では、「病歴」「既往」とするのが一般的です。

病理学的に、リウマチ性狭窄には主要な3型がある。交連型は腱索や先端がほとんど関与していない交連の融解を示す。腱索型は融解および腱索肥厚を示し、その結果、弁尖の運動縮小および低下が認められた。3型では弁尖または先端が静止して硬くなり最終的に石灰化する。これらの型は純性または合併型である。

* fusionには「融解」という意味もありますが文脈に合った訳語を選びます。

型 混合 として分けられる

課題文の紹介

「MITRAL STENOSIS」

Mitral stenosis (MS) is the most common and important cause of apical diastolic murmurs. It is the only cardiac valvular disease that is predominantly rheumatic in origin and accounts for about 50 percent of all rheumatic valve disease. Nonetheless, only about 50 percent of all patients with MS have a clear-cut history of acute rheumatic fever. It has a 4:1 predilection for females over males. Pathologically there are three main types of rheumatic stenosis. The commissural type exhibits fusion of the commissures with little involvement of the chordae and/or cusps. The chordae type exhibits fusion and thickening of the chordae, resulting in shortened and decreased mobility of the valve leaflets. In the third type the leaflets or cusps become still and rigid and ultimately calcify. These types may be pure or in combination.

第4問 (40点)

32 /40

バランスの良い栄養に富んだ食事は依然として治療の基本要素である。しかし、半数以上の症例で、糖尿病患者は食事に失敗する。登録栄養士に相談することを勧める。食事療法を行う時、食事療法の目的が糖尿病の型に関連していることが重要になる。軽度な高血糖を伴う肥満患者では、食事療法の主な目的はカロリー制限による体重減少である。

したがって、インスリン依存型非肥満性糖尿病患者の治療では絶対必要であるリストを交換したり、食事および周期的なスナックのタイミングを強調したりすることが必要である。はなくなる。この型の患者は医師にとって最も頻繁に起こる挑戦である。体重減少は、厳重な監視と肥満患者に対する教育によりのみ到達することができるかもしれない目標である。

したがって、インスリン依存型非肥満性糖尿病患者の治療では絶対必要であるリストを交換したり、食事および周期的なスナックのタイミングを強調したりすることが必要である。はなくなる。この型の患者は医師にとって最も頻繁に起こる挑戦である。体重減少は、厳重な監視と肥満患者に対する教育によりのみ到達することができるかもしれない目標である。

課題文の紹介

「DIABETES MELLITUS」

A well-balanced, nutritious diet remains a fundamental element of therapy. However, in more than half of cases, diabetic patients fail to follow their diet. Consultation with a registered dietitian is recommended. In prescribing a diet, it is important to relate dietary objectives to the type of diabetes. In obese patients with mild hyperglycemia, the major goal of diet therapy is weight reduction by caloric restriction. Thus, there is less need for exchange lists, emphasis on timing of meals, or periodic snacks, all of which are so essential in the treatment of insulin-requiring nonobese diabetics. This type of patient represents the most frequent challenge for the physician. Weight reduction is an elusive goal that can only be achieved by close supervision and education of the obese patient.